

令和八年度 熊本県立大学 文学部
日本語日本文学科 一般選抜（後期日程）
個別学力検査

小論文

【注意事項】

- ① 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いて中を見てはいけません。
- ② 問題用紙は、この表紙を含め五枚あります。
- ③ 解答用紙の指定の欄に、受験番号、氏名を記入しなさい。
- ④ 解答は、必ず解答用紙に記入しなさい。
- ⑤ 問題用紙の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- ⑥ 試験終了後、問題用紙及び下書き用紙は、持ち帰ってください。

(問題文は、3ページからです。)

次の文章をよく読んで、後の問に答えよ。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

(渡邊雅子『論理的思考とは何か』二〇二四年十月、岩波書店)

注 渡邊 2023 〓 編著者名および出版年を記すことで出典を示す書き方。「光村図書 2022 『国語 五』: 176-177」

のように書籍名や該当のページ数をも記す場合がある。その他、本文中に表れる「渡邊 (2023)」
「国語教育研究所編 1996: 237」¹⁾「大堀 2018」²⁾「大堀 2018: 52」³⁾「高城 1992: 182」も同じ。

問 本文末尾の傍線部について、筆者はなぜそのように言うのか、自身の考えを述べよ。その際、自身の論の前提として、「感想文の思考法」と「小論文の思考法」の違いについて言及すること。字数は全体で七〇〇字程度とする。